

特定非営利活動法人さめうらプロジェクト 平成28年度 事業報告

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人さめうらプロジェクト

1 事業の成果

「守る」「遊ぶ」「学ぶ」を基本方針とし、安全対策・観光およびスポーツ振興、若者たちの育成等を重点課題として取り組みました。

安全対策においては、水上バイクを活用した水上警備等活動として、高校生スタッフを増員し、県内外の河川や海上にて水上スポーツ大会・イベント等への協力・研修等を行い、スキルアップおよびネットワーク拡充を図りました。また、地域のマラソン大会や駅伝大会など水上以外の場面で自転車による監察等も行いました。

観光振興・スポーツ振興においては、自治体の委託事業を受け、主に湖面活用およびサイクリススポーツによる観光誘客等に関するプランづくりやモニターイベント、研修会等を開催しました。また、本年から土佐町・本山町が主体となり「カヌーの嶺北推進事業」がスタートしており、湖面の安全対策・調整など当方の強みを活かし、平成29年度以降もより良い展開を図っていきたいところです。

これらの活動をとおり、若者の活躍の場も拡充しました。地元中高生を中心とした野外活動サークル「Bule☆Lake」(ブレイク)がサイクリングやフィッシングなどのイベントの企画・運営を行い、また、これらの実績を講演会等で発表しました。

2 事業の実施に関する事項

1) 非営利活動

	定款の事業名	事業内容	実施日	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	備考
1	①安心安全快適な環境づくりに関する事業	湖面利用者および湖面利用船舶等管理業務	通年	さめうら湖および周辺	早明浦ダム湖利用者及び関係機関	
2		浮き桟橋管理	通年	さめうら湖および周辺	早明浦ダム湖利用者及び関係機関	土佐町委託事業
3		早明浦ダム湖面巡視	月1～2回	さめうら湖	早明浦ダム湖利用者及び関係機関	水資源機構委託事業
4		防犯パトロール	月1回程度	さめうら湖および周辺	早明浦ダム湖利用者及び関係機関	
5	水難救助・災害救援	シーバードジャパンと連携し、水上バイクによるレスキュー等の実施	SB総会2016.4.15(金)、イベント時に警備艇出動20回程度	総会：日本財団本社 活動域：さめうら湖	早明浦ダム湖利用者及び関係機関	
6		海上保安庁合同パトロールへの参加	2016.5.2(月)	土佐湾	不特定多数	
7		海と日本プロジェクト シーバードデイ2016 開催 (SUP+サイクリング+BBQ企画)	2016.6.26(日)	さめうら湖および周辺	参加者約50名	シーバード芸西との連携
8		吉野川フェスティバル・とくしまSUPマラソン水上レスキュー・ウォータースポーツ体験時の警備	2016.7.30(土)～2016.7.31(日)	徳島市・吉野川河口周辺	不特定多数	シーバード阿波との連携
9		ウォーターリスクマネジメント講習受講(芸西村と合同訓練)	2016.8.10(水)～2016.8.11(木)	さめうら湖	早明浦・芸西村関係者15名	
10		第51回全日本サーフィン選手権大会2016の水上警備	2016.8.24(水)～2016.8.25(木)	愛知県伊良湖	不特定多数	WRMA関係
11		2016中土佐タッチエコトライアスロン大会の水上警備	2016.11.5(土)～2016.11.6(日)	中土佐町	不特定多数	
12	美化活動	湖面及び河川等のゴミ拾い、ダムスロープ・遊歩道周辺の草刈や支障木除去など。	2016.6.19(日) 2017.1.22(日)	さめうら湖および河川、周辺地域	早明浦ダム湖利用者及び関係機関	
13	その他	ボートオーナーを対象としたさめうら湖での安全航行指導	2016.6.19(日)	さめうら湖および周辺	湖面利用者等参加者15名	
14		早明浦ダム周辺安全点検への参加	2016.4.21(火)	さめうら湖および周辺	水資源機構、大川村、土佐町、本山町ほか	

シーバード阿波との連携



WRMA水難救助訓練



中土佐タッチエコトライアスロン協力



15	②体験学習推進及び観光振興に関する事業	大川村観光誘客等促進事業	サイクルスポーツ、湖面利用、複合型スポーツツーリズム企画の調査研究、研修、営業活動など	2016.7.1(金)～ 2017.3.15(水)	大川村および吉野川流域他	不特定多数	大川村委託事業
16		土佐町サイクリングイベント実施	サイクリングコース設定、モニターイベントの実施。産業振興・人材育成を図る	2016.7.29(金)～ 2016.11.30(水)	土佐町内(イベント・高須相川 棚田ヒルクライム)	イベント参加者他50名	土佐町委託事業
17		土佐町サイクリングコース策定等に関する調査研究	サイクリングコース調査、プランづくり、広報ツールの研究など、観光振興・教育学習につなげる仕組みづくり	2016.9.21(水)～ 2017.3.15(水)	土佐町内	不特定多数	土佐町委託事業

大川村 俺たちの謝肉祭ライド



土佐町 棚田ヒルクライム



土佐町 サイクリングコース調査



18	③スポーツ振興及び健康づくりに関する事業	地域総合型スポーツクラブ(土佐町happinessスポーツクラブ)連携事業	総会	2016.5.21(土)	フォー末広	土佐町民ほか	
			運営委員会	年6回程度	土佐町役場	土佐町民ほか	
			定期的なスポーツ教室	各種目による(週1～3日程度)	土佐町内	土佐町民ほか	
			不定期な教室・大会	各種目による(年間20回程度)	土佐町内	土佐町民ほか	
			やまびこカーニバル杯スポーツ交流大会(ウォータースポーツ、ソフトバレーボール、少年野球、少年ラグビー、センチュリーライト)	各種目による(7～8月)	土佐町内	不特定多数(計500名程度)	
			さめうら湖畔マラソン協力	2016.11.13(日)	さめうら湖周辺	参加者約1,200名	
			新春走り初め大会協力	2017.1.1(金)	土佐町内	参加者約60名	
			土佐町駅伝大会協力	2017.1.15(日)	土佐町内	参加者他約400名	
			高知県エリアネットワーク事業への協力	随時	高知県内	不特定多数	
			広報活動(自治体広報誌への投稿、facebook活用、新聞など)	随時	土佐町内	不特定多数	
			事務会計、研修等参加、各種調整など	随時	土佐町内外	スポーツクラブ関係者など	

やまびこカーニバル



スポーツ体験イベント



さめうら湖畔マラソン(監察)



19	④人材育成及び調査研究に関する事業	若者のまちづくり推進	さめうらラバーズ、Blue☆Lake(ブレイク)など、地域の若者が主体となって活躍できる機会・環境の創造。	通年	県内外	主たるメンバー 約10名	
20		トムソーヤ・アドベンチャースクールへの協力	サニーマート主催の小学4～6年生60名+新入社員を対象とした研修。ウォータースポーツ、アメゴつかみどり、イカダ作り、キャンプなど。	2016.7.26(水)～ 2016.7.28(金)	土佐町内	参加者・関係者約80名	
21		嶺北高校魅力化プロジェクト(カヌープロジェクト)への協力	仮称「カヌーのまち嶺北推進協議会」(本山町・土佐町)が主体となり、カヌー指導者を誘致、嶺北高校の魅力化、アウトドア観光客誘致、移住促進につなげる。	2017.2月～ 随時	嶺北地域・さめうら湖流域	不特定多数	

22	水産多面的機能 発揮対策事業	さめうら湖の新たな水産資源の 導入と活用の研究。(ニジマス 実釣調査)	年38回	さめうら湖及び周 辺	早明浦ダム湖 利用者及び関 係機関	水産庁補助事業
		水生生物調査	2016.8.20(土)	伊勢川川	河川利用者及 び関係機関	
		さめうら湖および周辺河川の環 境保全活動(湖面清掃)	2017.1.22(日)	さめうら湖	早明浦ダム湖 利用者及び関 係機関	
		水産多面的機能に対する理解 を深める活動(講習会)	2016.12.17(土)	さめうら荘会議室	早明浦ダム湖 利用者及び関 係機関	
23	湖面利用状況調 査	さめうら湖の利用者数、利用目 的などの調査分析、進入路保 守管理、ダム管理施設ないの 魚の飼育など	調査 月1回程度 進入路 月2回程度 魚飼育 月4回程度	さめうら湖および 周辺	早明浦ダム湖 利用者及び関 係機関	水資源機構委託 事業

トムソーヤアドベンチャースクール協力



水の週間交流イベント



虹鱒実釣調査



24	⑤交流促進及び異業種連携に関する事業	水の日・水の週間行事	ウォータースポーツ体験、水難救助に関する楽手など	2016.8.14(日)	さめうら湖	参加者30名	
		嶺北観光交流推進協議会	京都DMO、グランピング他研修会への参加など	2016.12.1(木)～2016.12.3(土)	京都方面	参加者約20名	
25		各種交流・連携の促進	前述の活動をととした交流・連携の促進	随時	全国	不特定多数	
26		関係団体への加盟	NPO法人れいほく活性化機構加盟		嶺北地域	不特定多数	
27			さめうら水源の森ネットワーク加盟		嶺北地域	不特定多数	
28			NPO法人土佐さめうら観光協会加盟(理事)		土佐町	不特定多数	
29			シーバードジャパン加盟		全国	不特定多数	
30			ウォーターリスクマネジメント協会加盟		全国	不特定多数	
31	⑥その他、目的を達成するために必要な事業		総会・理事会	総会	2016.5.14(土)	事務所	出席者16名
32		さめうら湖協議会総会	構成委員として参画	2016.6.23(木)	早明浦ダム管理所	参加者約20名	
33		水神式	参列者として出席	2016.8.6(土)	水之塔	参列者約100名	
		広報活動	旅マガジン「GajA高知」掲載			不特定多数	
			こうち人 掲載 (高知県観光コンベンション協会発行)			不特定多数	
			Our よしのがわ 掲載 (国交省WEB広報誌)			不特定多数	
			高知新聞				
			シーバードデイ2016予告	2016.06.15			
			シーバードデイ2016実施	2016.06.26			
			棚田ヒルクライム	2016.09.18			
SUPサンタ	2016.12.25						
今年の一押し(ブレイク)	2017.01.08						

34	講演活動	四国活性化フォーラム(細川壮司氏パネラーとして登壇)	2016.10.29(土)	クラウンパレス高知新阪急	来場者数約400名	
		土佐町女性のつどい(澤田幾弥氏活動発表として登壇)	2017.2.19(日)	土佐町あじさいホール	参加者約80名	
		土佐志民大学(伊東一文氏パネラーとして登壇)	2017.3.18(土)	高知県立大学	参加者約50名	

2)その他の活動

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び神通	事業費の金額(千円)
飲食物等の販売事業	無し。				

※コココーラ自動販売機売上手数料として生じた収入は非営利事業に振替。

(参考)新聞掲載記事



後半の自転車は体力勝負となった(土佐町田井)

早明浦 湖と道こいで満喫

計25キロ 県内外から47人

土佐町・大川村でSUP&自転車レース

【瀬北】水面に浮かべたボードの上に立つてパドルをこぐ「スタンドアップパドルボード(SUP)」と自転車を組み合わせたレースが26日、土佐郡土佐町から大川村にかけて広がる早明浦ダム湖周辺を舞台に初めて開かれた。県内外の47人が水と陸路で心地よい汗を流した。(仙頭達也)

ダム湖の魅力を体感し、着点に、SUPで10キロ、自転車では15キロの計25キロのコースを設定した。参加者は村役場前の湖で、大川村役場周辺を発

面から色とりどりのボードでスタートし、まずはゆっくりと湖上散歩を楽しんだ。中高生は8人で大きいボードに乗り、息を合わせてこぎ進んだ。

早い人は約1時間半で、折り返し地点のさくら荘前土佐町田井に到着。パドルを置いて自転車で走り換え、ペダルをこいで県道を駆け上った。各自のペースで自然を満喫し、約3時間半で39人がゴールした。

ゴール後は村特産の大川黒牛のバーベキューを味わい、参加者同士で交流を深めた。高知工科大学の山本健太郎さん(19)は「SUPは最初はバランスが難しかったけど、慣れると楽しかった。ここでしか体験できないイベントだ」と汗を拭きながら、イベントは日本財団などが展開する「海と日本プロジェクト」の一環で、土佐町のNPO法人「さくら荘プロジェクト」などが開いた。

銀輪 棚田駆け上がる

土佐町でヒルクライム 高校生ら初企画

【瀬北】棚田風景が広がる土佐郡土佐町相川地区を舞台に、自転車と坂道を駆け上がる「土佐町・棚田ヒルクライム」がこのほど、初めて開かれた。地元高校生が「棚田の美しい景色を楽しんでほしい」とコースを企画運営した。

サイクリングを通じた者は景色が最高ですね」を堪能した。地元NPO法人「さくら荘」の代表者、土佐町高須の高校生2人、沢田幾弥(いくみ)さん(17)が、収穫前の棚田の色や香り、雲間を抜けてはしゃぐと、棚田のコースを提案した。高校生らが主体となつて地元との協議を進め、初開催にこぎ着けた。

コースは土佐町相川の土佐町相川地区のふれあい牧場交差点を指す約4キロ、標高約350メートルの坂道を、参加者は息を切らしながら、沿道の住民から「がんばれー! あつー!」と応援を受けてゴールを目指した。

交流館に到着した参加者

必死にペダルをこいで坂道を駆け上がる参加者(土佐町高須)

2016年(平成28年)9月18日(日曜日)

(仙頭達也)

今年のイチ押し⑤

取材・写真

新たなサイクリングコースの考案を目指す「Blue Lake」のメンバーら(土佐町田井)



土佐町

Blue Lake

野外活動で地域発信

【嶺北】土佐郡土佐町から大川村にかけて広がる早明浦ダム湖やその周辺地域で、スタンドアップパドルボード(SUP)などの水上レジャーやサイクリングといったアウトドアスポーツが近年、盛んになっている。嶺北地域の中高生らでつくる野外活動サークル「Blue Lake(ブレイク)」はダム湖を拠点に、スポーツで地域の魅力を内外に発信しようと励んでいる。

小中高生が企画運営

た児童生徒を中心に昨年4月に発足した。小学6年から高校3年までの10人ほどが所属。自分たちでアウトドアスポーツを楽しむだけでなく、イベントの企画や運営も積極的に行っている。

良さが分かった。地元の子がどんどん町外に出て行くが、地元に残りたい、一度出て戻ってきたいと感じてもらえるように地域の楽しさを伝えたい」と意気込む。活動を支援する同NPOの辻村幸生理事長は「自分たちのアイデアをどんどん実践してほしい」と促す。

水上バイクやロードバイクを乗りこなし、イベントの警備を担当することもある。嶺北全体でアウトドア熱が高まる中、今後はイベントが増えると思われる。その時、地元で生まれ育った若者の成長が地域を動かす原動力となりそうだ。

(仙頭達也)

局

土佐局

☎0888-852-0158
℡0888-852-0491

北局

☎0888-852-0158
℡0888-852-0491

長局

☎0888-852-0158
℡0888-852-0491

芸局

☎0888-852-0158
℡0888-852-0491

中支

☎0888-852-0158
℡0888-852-0491

戸局

☎0888-852-0158
℡0888-852-0491